

地域密着型金融推進計画の 進捗状況について

平成20年5月



企業理念

企業理念

地域のために
お客様とともに
人を大切に

私たちは、「公共的使命」を尊重し、豊かな地域社会の創造に貢献する、健全かつ強い銀行を創ります。

私たちは、「お客さま大事」を尊重し、誠意と英知を育み、真摯かつ魅力あふれる銀行を創ります。

私たちは、「自主性」を尊重し、自信と誇りに満ちた、進取かつ明朗な銀行を創ります。

中期経営計画

第12次中期経営計画

Step up Plan 12th

「企業価値」の向上を目指し、地域とともに、成長を続ける銀行

地域密着型金融推進に関する基本方針

企業理念・中期経営計画における目指す姿を実践し、銀行業務を通じた地域社会の活性化を追求します。

当行は、「地域密着型金融推進に関する基本方針」に基づき、「地域密着型金融推進計画」(平成19年度～21年度)を策定・実施し、地域金融の各種機能強化へ取り組んでおります。

平成19年度は、本計画および第12次中期経営計画の初年度であり、地域密着型金融の各種機能強化に向けた態勢を整備してまいりました。

また、当行初となるDES(債務圧縮のための貸出債権と株式の交換)、DDS(財務状態の実質的な改善を目的とする貸出債権の資本的劣後ローンへの転換)を活用した事業再生、北東北3行合同でのビジネス商談会の開催による取引先企業の支援強化など、着実に取り組みを進めております。

今後も、当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」に基づき、地域金融機関としての役割を十分に果たし、地域との共存共栄を実現してまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援、相談機能の強化

① 地域ファンド、助成金を通じた創業・新事業支援

平成19年度は、地域ファンド(あおもりクリエイトファンド)に参画し、成長可能性を有する企業への出資を通じた創業・新事業支援を強化しております。

また、平成9年から実施しております「あおぎん地域産業育成助成金(通称エンジェル)」について、平成19年度も3社に助成金を交付し、新事業に関する研究開発などの支援を行っております。

今後も地域における資金供給面での支援はもとより、地域ファンド、助成金を通じた創業・新事業支援を一層強化してまいります。

創業・新事業支援融資の実績(平成19年度)
件数 8件 金額(実行ベース) 161百万円

② コンサルティング機能の強化による経営相談・情報提供・商談機能の拡充

法人向け会員制経営支援総合サービス「Wing Web 24」の提供や北東北3行合同によるビジネス相談会の実施により、県内にとどまらず、広い商圈での取引を支援しております。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(2) 事業再生・経営改善支援への取組み

① 企業の早期再生と再生持続可能性のある事業再構築に向けた支援強化

当行では、企業価値が保たれている段階での早期再生のため、外部機関(RCC、中小企業支援協議会、再生ファンドなど)を活用し、企業再生の促進、実効性の確保を図っております。

平成19年度におけるRCC、中小企業支援協議会などを活用した事業再生手続き完了案件は4件と着実に成果を挙げております。特に、本年度は当行初となるDES(債務圧縮のための貸出債権と株式の交換)、DDS(財務状態の実質的な改善を目的とする貸出債権の資本的劣後ローンへの転換)を活用した事業再生に取組み、再生持続可能性のある事業再構築に向けた支援を実践しております。

② 経営改善支援取組み先を中心とした重点的な経営改善支援への取組み

当行では、経営改善支援取組み先を指定し、審査部内の専担部署である企業支援室が中心に、本部・営業店が一体となり、経営改善支援に取り組んでおります。平成19年度における債務者区分ランクアップ実績は21先と着実に成果を挙げております。

経営改善支援等の取組み実績(平成19年度)の詳細については、別表をご覧ください。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

当行では、不動産担保、個人保証などに過度に依存しない融資手法を徹底すべく、事業価値を見極める融資手法の拡充に取り組んでおります。

また、シンジケートローンなど市場型間接金融手法、ABL(動産担保融資)などを活用した資金供給機能の強化に向けて、行内手続の制定、お客さまへの提案推進など、体制面の整備を進めております。

個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績(平成19年度)

	件数(件)	実行額(百万円)
スコアリングモデルを活用した融資	383	4,660
その他(当行格付による無担保商品)	355	6,161

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資手法の徹底を図るため、企業の技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を強化しております。

19年度も審査部への長期研修制度の導入、業務別研修やレベルアップ研修の充実などを進めており、今後も「目利き能力」の強化に向けた取組みを継続してまいります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

① 産学官金連携の強化

当行では県内大学などとの連携協力を通じた、地域経済活性化に向けた支援を強化しております。

＜平成19年度 業務協力協定締結先＞

19年 4月	弘前大学	19年11月	八戸工業高等専門学校
19年12月	八戸工業大学	20年 3月	青森公立大学

② 地域中小企業の販路拡大支援の強化

各種機関と連携したビジネスマッチングの充実による販路拡大支援を強化するため、19年11月に北東北3行合同ビジネス相談会「Netbix」(商談件数548件、成約件数114件)や、青森県、県内金融機関との共同による「第1回青森の正直」展示商談会を開催しております。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

① 県内大学等との提携教育ローンなどを通じた地域人材育成支援

平成19年度は、県内2校との提携による教育ローンの取扱を開始しております。今後も、県内大学等との提携教育ローンの拡充や、金融経済教育の普及などを進め、地域における人材育成支援に取り組んでまいります。

② 利用者満足度アンケートの実施

平成20年3月に個人のお客さまを対象に「利用者満足度アンケート」を実施しました。今後もアンケート結果をもとにした、利用者の満足度向上、地域活性化につながる各種多様なサービスの提供に努めてまいります。

経営改善支援等の取組み実績

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち				経営改善支援取 組み率 = α / A	ランクアップ率 = β / α	再生計画策定率 = δ / α
		経営改善支援取 組み先 α	α のうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数 β	α のうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	α のうち再生計画を 策定した先数 δ			
正常先 ①	9,519	6			2	0.06%		33.33%
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	3,682	96	16	74	2.61%	16.67%	77.08%
	うち要管理先 ③	75	20	1	14	26.67%	5.00%	95.00%
破綻懸念先 ④	654	10	2	7	10	1.53%	20.00%	100.00%
実質破綻先 ⑤	330	2	2		2	0.61%	100.00%	100.00%
破綻先 ⑥	125					0.00%	0.00%	0.00%
小 計(②～⑥の計)	4,866	128	21	95	105	2.63%	16.41%	82.03%
合 計	14,385	134	21	95	107	0.93%	15.67%	79.85%

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点で整理している。
・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含めていない。
・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載している。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は α に含めているが、 β には含めていない。
・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含めている。
・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期
初の債務者区分と異なっていた場合でも)期初の債務者区分に従って整理している。
・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていない。
・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載している。
・みなし正常先については正常先の債務者数に計上している。
・「再生計画を策定した先数 δ 」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「当行独自の再生計画策定先」